

はじめにお読みください

PRIMEQUEST 2000 シリーズ本体ファームウェアアップデートの適用について

2015年10月
富士通株式会社

1 本文書について

本文書は PRIMEQUEST 2000 シリーズ本体ファームウェアアップデートの適用について述べます。
本体ファームウェアは以下の 3 種で構成されます。

- ・BIOS ファームウェア
- ・BMC ファームウェア
- ・MMB ファームウェア

2 アップデート対象機種

下記表は PRIMEQUEST2000 シリーズのモデル名とアップデートで適用するファームウェアの版数です。Web-UI を使って 3 種のファームウェアを一括してアップデートします。

PRIMEQUEST 2000 シリーズ モデル名	ファームウェア版数 (アップデート後)
2400S2 Lite	BB15092
2400S2	
2400E2	
2400L2	
2800E2	
2800L2	

3 必要部材

ファームウェアアップデートのため以下の部材が必要です。

- ・手順書
PRIMEQUEST2000 ファームウェアアップデート手順書.pdf
- ・ファームウェアファイル
PRIMEQUEST_BB15092.tar.gz

4 修正内容

提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2015/10	BB15092	<p>SSDの書き込みデータ量(書き込み寿命情報)が30, 50, 70, 80, 90(%)に達した時、SEL(System Event Log)に記録する機能の提供</p> <p>システム共通部品(MMB, PSU 等)を交換する際、Hot System Maintenance Mode(保守モード)であるにも関わらず、ハード故障が発生した場合に、その故障情報を誤って REMCS 通報してしまう問題の修正</p> <p>SNMP Community の IP アドレスを IPv4 設定する場合、指定する IP アドレスの第3 オクテットまでが MMB の IP アドレスと同じで、第4 オクテットの上位の桁が MMB と一致し、MMB より桁数が少ない IP アドレスを指定すると設定できない問題の修正 例) MMB IP : 192.168.3.10 SNMP Community : 192.168.3.1 <= 旧版では設定不可</p> <p>【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1) - I. 10.</p>
2015/9	BB15082	<p>SAS SSD/PCIe SSD への書き込み回数を MMB Web-UI に表示する機能の提供</p> <p>LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)機能の提供</p> <p>CNA(Converged Network Adapter)カードのマルチパス構成において、Auto Boot 設定により自動的に OS を起動した場合のみ、2 ポート目のブートパスが OS から認識されない問題の修正。</p> <p>リモートサーバより RMCP コマンドにてパーティション On/Off を実施した場合のみ、稀に Firmware Error が発生してしまう場合がある問題の修正。</p> <p>IOU/PCI_Box にて障害を検出した際、IOU の画面ではなく、PCI_Box の画面で Status Clear を実施してしまうと異常 SEL が2 回記録されてしまう問題の修正</p> <p>【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1) - II. 1. (4)</p>

提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2015/8	BB15074	<p>Extended Partitioning で以下のカードをサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> - FC(Fiber Channel)カード - CNA(Converged Network Adapter)カード <p>UEFI メニューの[PCI Subsystem Configuration]メニューに内蔵 LAN の有効/無効を設定する機能を追加</p> <p>UEFI メニューの[CPU Configuration]メニューに CPU C1E の有効/無効を設定する機能を追加</p> <p>Secure Boot 向け FUJITSU Middleware 用キーを追加</p> <p>BMC が高負荷状態になった時に BMC Communication Error または BMC-MMB LAN Error が発生してしまう場合がある問題の修正</p> <p>ファームウェアアップデート中に MMB Switch over が発生した場合のみ、MMB Heartbeat Lost が発生してしまう場合がある問題の修正</p> <p>【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1)</p> <ul style="list-style-type: none"> - I . 10.
2015/7	BB15067	<p>DR(Dynamic Reconfiguration) : SB(System Board) Hot-Remove 機能の提供</p> <p>MMB の Web-UI に PCI スロット内蔵ソリッドステートドライブの寿命情報を表示する機能の提供</p> <p>OpenSSL の脆弱性対応(FREAK : CVE-2015-0204)</p> <p>IPMI(send message)コマンドが発行されたタイミングで BMC リセットが発生した際、BMC とシステム管理ソフトウェア間の通信がハングアップしてしまう場合がある問題の修正</p> <p>MMB間で Switch Over が発生した時、または MMB 処理が高負荷状態になった時に“Power Supply Failure”エラーを誤検出してしまう場合がある問題の修正</p> <p>【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1)</p> <ul style="list-style-type: none"> - I . 1. (16) - I . 5. - I . 6. - II . 1. (1) - II . 1. (5) - II . 1. (7)

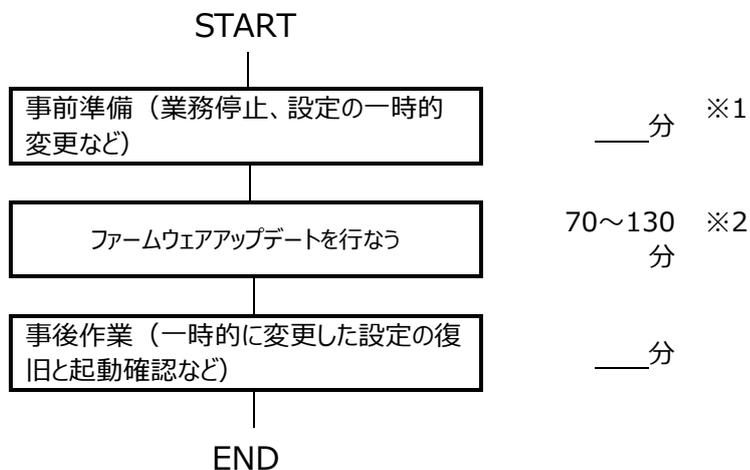
提供時期	ファームウェア版数	修正内容
2015/6	BB15053	EP(Extended Partitioning)/ES(Extended Socket)機能の提供 【その他の更新内容】 (制限・留意事項一覧を確認して下さい※1) - I. 1. (12) - II. 1. (3) - II. 1. (6) - II. 3. (1) - II. 3. (2) - II. 3. (4)
2015/5	BB15045	初版提供

※1 : 製品に添付されている PRIMEQUEST 2000 Series 制限・留意事項一覧(CA92344-0736)に記載されている項目番号に対応します。
この対応については、上記の修正内容と同じ内容を含む場合があります。

5 作業の流れと実施時間

以下のフローチャートは作業の流れの概略と実施時間です。

ここでは事前準備(業務停止と設定変更など)、および、事後作業(復旧と起動確認など)の所要時間を記載していません。お使いのシステム毎に必要な所要時間を考慮の上、作業時間をお見積り下さい。



※1： ファームウェアアップデートのための事前準備項目はファームウェアアップデート手順書を参照してください。

※2： ファームウェアアップデート時間はモデルと装置構成に依存します。詳細はファームウェアアップデート手順書を参照してください。